

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第18週（令和4年5月2日～令和4年5月8日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告


病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	245	204	4,449
腸管出血性大腸菌感染症	2	29	19	272
レジオネラ症	1	9	17	332
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	21	12	459
梅毒	5	121	110	3,213
百日咳	1	6	6	180

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	0	0.00	-	8	0.00
RSウイルス感染症	17	0.14	1.06	438	0.14
咽頭結膜熱	24	0.20	1.00	382	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	0.57	0.74	738	0.24
感染性胃腸炎	451	3.76	0.70	11,488	3.71
水痘	12	0.10	0.57	208	0.07
手足口病	6	0.05	1.00	440	0.14
伝染性紅斑	1	0.01	-	33	0.01
突発性発しん	59	0.49	0.81	1,198	0.39
ヘルパンギーナ	3	0.03	1.00	52	0.02
流行性耳下腺炎	2	0.02	0.67	81	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	4	0.15	4.00	97	0.14
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	6	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	5	0.01

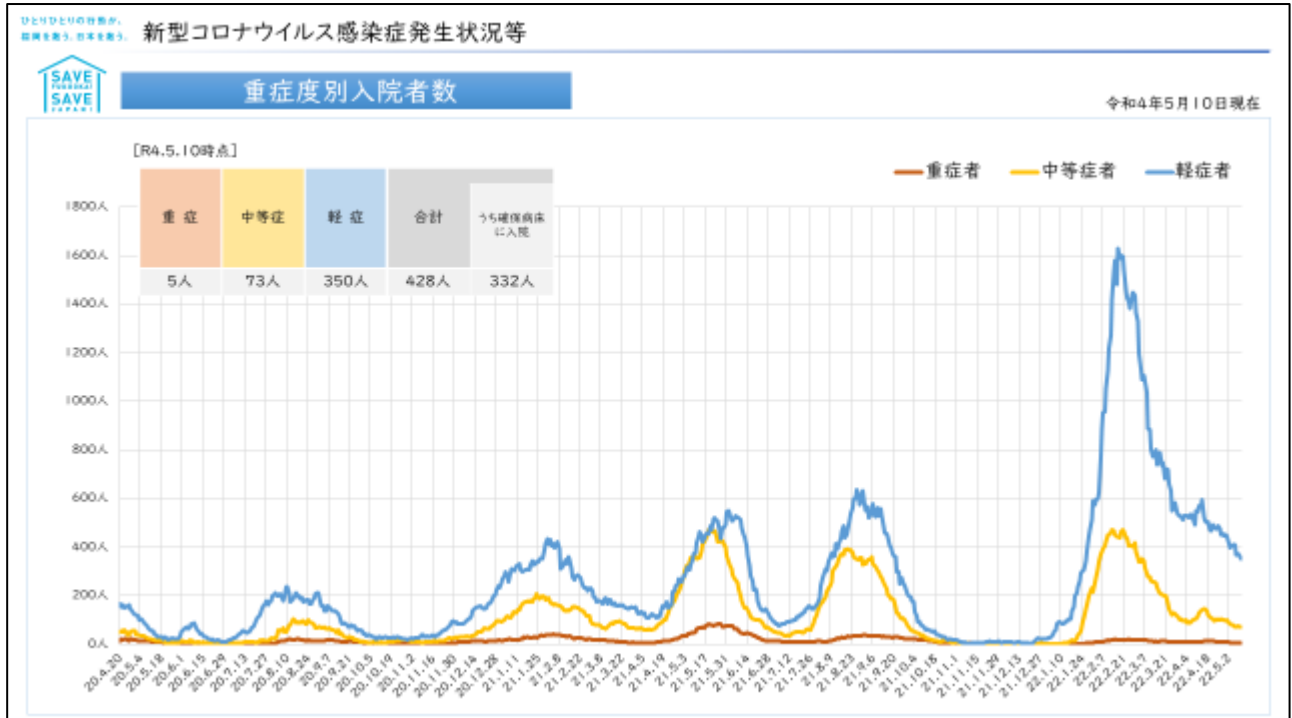
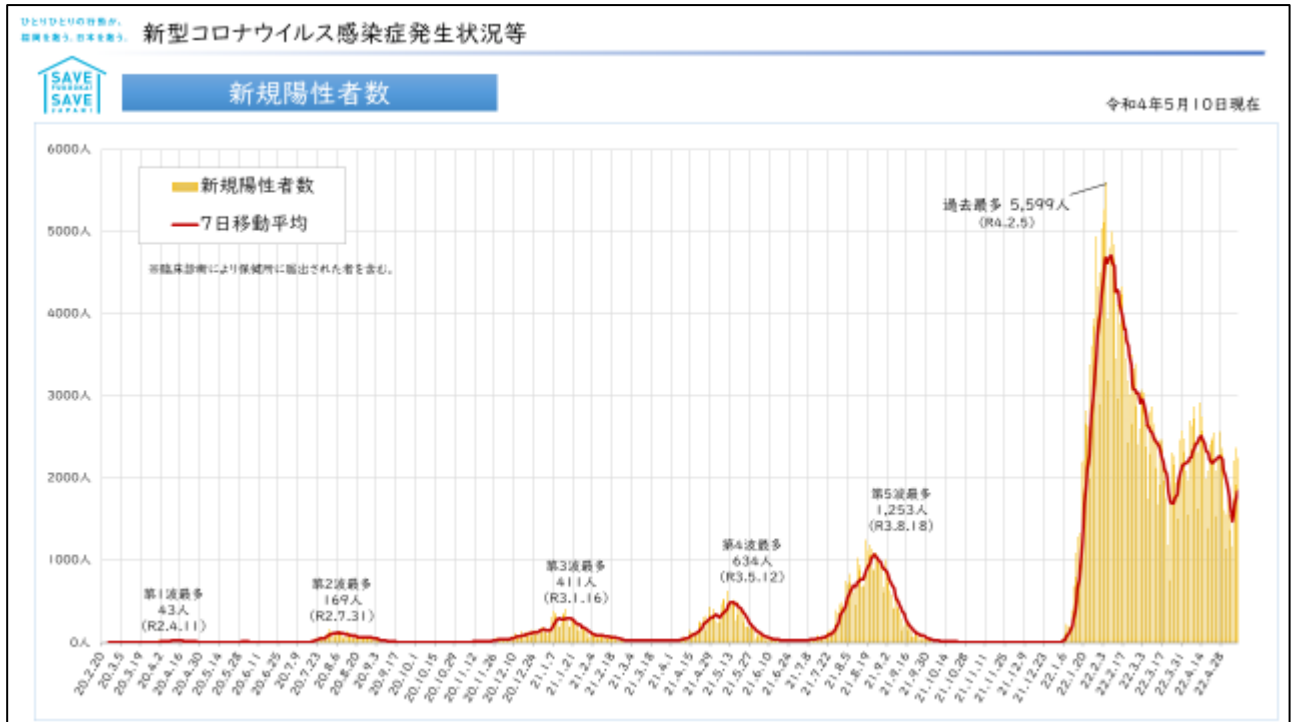
: 警報レベル

: 注意報レベル

■ コメント

- ・今週は、梅毒の報告が5件ありました。第18週までの累積報告数は121件で、昨年の同時期（80件・速報値）に比べ多い状況です。梅毒は、性的な接触（他人の粘膜や皮膚と直接接触すること）などによって感染します。潜伏期間は3～6週間と長く、初期の症状は、陰部のしこりや股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節の腫れ等です。しこりや腫れ、発疹などの症状があらわれた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。また、感染予防のために、避妊具（コンドーム等）の正しい利用が大切です。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>